

市町村名：紫波町

学校名：紫波町立長岡小学校

担当者名：細川 直子

学校における特色ある食育実践事例の紹介

教科名等					
单元名等					
取組学年	3・4年親子	取組時期	5月28日(日)	毎年実施の有無	1回目
取組内容	<p>1 <b>ねらい</b> 食の大切さを小さい頃から理解してほしいという願いから、3・4年親子を対象に、食育講座を実施した。</p> <p>2 <b>当日の流れ</b> 開会 講演 講師 東京都港区「分とく山」総料理長 野崎 洋光氏 演 題 『食は地域の宝、健康の源』 親子で料理体験 事前に親子で収穫した山菜を使い料理体験 <b>山菜メニュー</b> - ・たらのめのくるみあえ ・山菜とりなべ ・山菜サラダ ・ふきの葉おこわ ・わらびもち 親子で試食会（日頃お世話になっている方を招いて会食） 閉会 後始末 講師への感謝の手紙作成</p> <p><b>食育講座後の児童・保護者の感想</b> 普段見ている野菜を切ったりすりつぶしたり、煮込んだり、味付けをするだけで色々な料理が作れて、嫌だった野菜が、おいしく食べられました。 時間がかかったけどそのおかげでおいしくなりました。児童 野崎先生の講演はたいへん勉強になりました。上の子が野菜嫌いで毎日苦労して食べさせていますが、離乳食が終わり、味の濃いものを食べさせていると、食の本来の味が嫌いになるという事をお聞きし、自分では気を付けていたつもりが、大人の味付けになっていたと今更ながら反省しました。 また料理教室に参加して、「ご馳走」の意味や、山菜料理のレパートリ - が増えたことがよかったです。海の物、山の物が豊富にある紫波町で、これからも子ども達に旬のものをたくさん食べさせていこうと思います。 保護者</p>				
本取組を行っている理由	・食生活は、生涯にわたって健康な生活を送る上で最も大事な営みです。したがって早い時期から正しい食事のあり方や、望ましい食習慣を身につけ自己管理ができるようにしたいと考えた事、また、児童にとって食事全体の6分の5が家庭での食事となる事を考え、家庭との連携の良い機会となる食育講座を計画したものである。				